

第25期第9回常任理事会報告(2004.5.26)

出席者：柏木、山中、渡辺、山本、高橋、内藤、神野、中嶋、藤村(全国理事)

- 1 役員の交代と支部長の互選、任務分担
異動等による理事の交代と紹介。支部長に柏木を互選する。
各理事の分担の確認(別紙のとおり)
- 2 2004年の理事会・総会・年会
 - ・ 理事は選挙で既に出選されて、幹事も理事の指名によるので、総会の場ではともに休止部長からの報告のみとする。
 - ・ 総会は基本的に第25期理事が行い、26期理事に2004年度の事業を引き渡す形とする。
 - ・ 総会の議長候補は大学関係者から選定することを確認。議事次第と議長候補を早急に決定する。
 - ・ 決算報告では、会計監査から金額については適正。会計処理と在庫管理はいっそうガラス張りする必要がある。
 - ・ 送付する支部ニュースには、2004年度総会資料を添付する。また、決算・予算・事業計画・規約・細則を含める。ただし、HPには決算予算は掲載しない。
 - ・ 4/23までに調査研究奨励金、研究助成金の申請はなかった。
昨年度奨励金授与者の藤本氏は、気象知識の普及を評価したものとのコメントあり。
調査奨励金の授与は2年に一度が目安。提供者である日本気象協会の承認をとって基金を崩すことも検討する。
 - ・ 懇親会は17:00からに変更。場所は確定済。進行等は庶務で決定する。
- 3 夏季大学
 - ・ 80名定員だが、両日出席を見込まなければ120名程度までは可能であろう。
 - ・ 1日目講演は大学関係から、2日目は気象情報に近い人たちからの話となる。昨年度は天気予報作成の作業は好評だった。今年も、天気予報実習は時間を多くとってある。
 - ・ 大学法人化の影響で、大学施設の使用有料化の動きがある。今年度は無料で使用できる見込み。
- 4 2005秋季大会実行委員会の立ち上げ
 - ・ 来年度に向けて7月ごろには人選をすすめる。
 - ・ 今年度開催される福岡に可能なら派遣する。
 - ・ 神戸大学を押さえているが、大学施設の使用有料化で150万円ほど経費がかかる可能性がある。本部と予算面で折衝する必要がある。
- 5 次回理事会予定
 - ・ 2004年度理事会 6月19日総会前 10:40~
 - ・ 第26期第1回常任理事会 7月中旬